

職員による自己評価

A 環境面

- ・適切である

B 児童への支援内容

- ・標準化されたアセスメントツールはないがその時々によって使っている

C 関係機関との連携

- ・こちらから発信することは少ないが連絡があれば連携している

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・会報の発行はしていない

E 非常対応

- ・非常時マニュアルを準備している
- ・避難訓練を毎月行ってる
- ・ヒヤリハット事例集はない

保護者による評価

A 環境面

- ・スタッフの専門性や環境面の配慮について知らされていない

B 児童への支援内容

- ・概ね良い

C 事業所からの情報発信

- (会報はないので質問から抜きました)
- ・苦情について未経験の為評価できない

D 非常対応

- ・概ね良い

事業所内での分析

【共通点】

- ・支援についてと非常時の対応については共通してよい評価だった

【相違点】

- ・環境や人員配置についての情報発信が不足気味
- ・苦情受付について

分析・検討してみて…

事業所の強み

- 送迎時や連絡帳での保護者との連携
- 支援計画や面談での対応

事業所の改善点

- 会報等での情報発信
- 設備や環境についての説明
- 苦情受付について流れ

事業所の改善への取り組み

- 会報の発行
- 面談時に環境や設備への取り組みについて実際に見ていただく
- 苦情について事例や受付後の流れを説明

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

• お忙しい中、事業所評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。肯定的なコメントが多く大変ありがたく恐縮しました。個別支援計画や保護者の皆様との連携など直接利用者様に携わるところへの高評価がありがたかった反面、環境やスタッフの専門性などのハード面の情報公開が行き届いていないことがよくわかり、今後の課題が明確になりました。また、否定的なご意見もいただき、スタッフ一同自分の姿を振り返る良い機会になりました。否定的な思いを記入することは少し躊躇することだと思いましたが、一歩踏み出してもらったことで、これから益々成長して行けることをありがたく思いました。今後ともよろしく願います。